



保護者様

教育目標：「生き抜く力」の育成（「やさしく

いきいき東っ子



東川登小学校便り 第23号

かしこく たくましく」)

東川登小HP

令和4年12月23日(金) 校長 吉家恵美

◆冬休みを迎えます◆

本日を区切りに、2学期後半の学びが終わりました。今年もコロナの感染状況を見ながら学校の教育活動を行ってきました。令和4年度がスタートし、約4分の3が過ぎましたが、『Withコロナ』の考え方でだんだんと以前のような地域との交流が可能になり、嬉しく思っています。

9月からの4か月は、学校行事も地域の皆さんと一緒に学習する機会も多く、充実した日々でした。学習量もそれぞれの学年でぐんと増え、知識も経験も多く積み重ねたことでしょう。一人一人の授業や登校の様子を見るたびに成長を感じます。いつも子ども達を温かく支え、見守っていただいた家族の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございます。

さあ、明日からは冬休み！事前に担任から学習や生活について指導をしていますので、それらをしっかりと守って楽しく健康的な日々を過ごしてほしいと思います。年が明け、1月10日にはまた元気な東っ子の笑顔を見れることを楽しみにしています。

◆「自分たちにできることは？」ユニセフ募金への協力◆

11～12月に生活・ボランティア委員会の呼びかけで全校的に募金に取り組み、このたびユニセフの方々に集まった募金をお渡しすることができました。ユニセフ協会の方々からは改めてSDGsや紛争や貧困等で苦しんでいる世界中の子ども達のことについて話があり、生活・ボランティア委員会の4～6年生は真剣に聞いていました。



◆12月9日(金) 大盛り上がり！1・2年生おもちゃ祭り◆

2年生が、生活科で工夫を凝らして作成した作品で盛大におもちゃ祭りを開きました。1年生に遊んでもらったり、全校に呼び掛けてお客さんを募り一緒に遊んだりする企画でした。

店員さんになりきって誘ったり遊び方を説明したりする姿から学習の成果を感じ取ることができました。



◆「花まるタイム」意見交換会◆

15日(木)、通常通りの地域支援を受けての花まるタイム終了後に、集まっていた地域の方々や学校側で意見交換会を行いました。子ども達の様子を見ての意見や学校に対しての思いなどをざくばらんに語り合う時間を設けることができ、嬉しく思いました。

東川登町は「地域の子どもは地域で育てる」という町の方針が言葉だけでなくあらゆる場面で実現されている素晴らしい地域だと実感しています。



※地域の方の「声」※

- ・子ども達と一緒に活動は町老連会の役員も喜んで行える活動。子ども達が真面目にやるので嬉しい。
 - ・子ども達の「縦のつながり」が薄れてきているのではないかと。学校では難しいのであれば地域で企画していきたい。
 - ・子ども達が地域で遊ぶ姿をあまり見かけなくなった。活発な挨拶も減ってきたように思う。
- ありがとうございます。自ら人と関わろうとし、進んで挨拶ができる姿をさらにめざします。

◆入賞おめでとう◆ (敬称略しています)

【武雄市人権標語コンクール】

① 特選

6年 木寺 柚月

② 入選

4年 中尾 太陽 5年 稲富 日咲

5年 原田 心遥 6年 境 大輝

皆様のおかげで2022年も無事に終わろうとしています。よいお年をお迎えください。